

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年10月8日

評価対象年度：平成19年度				管理	1-7-1-5
事務事業名 資料館管理運営事業				部等名	教育部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	生涯学習センター
	一般	01-100508001	細々目名	係等名	文化振興（歴史民俗資料館）
政策体系	基本目標	1	豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり		
	施策	7	文化財の保護・継承と芸術、文化活動の推進		
	基本事業名	1	文化財の調査・保存・活用		

事業概要 実施内容	市の歴史資料を常設展示。寄贈資料の受付・整理。考古資料、史跡、古文書などの各種問い合わせに応える。来館者への説明。他館への資料の貸し出し。埋蔵文化財包蔵地の開発に対する問い合わせに対して資料館にある台帳や発掘資料と照合して回答する。学芸員資格取得希望の一般人および大学生への博物館実習を行う。また市内の中学生・高校生の職場体験を実施。毎年、本宮小、まゆみ小、五百川小、岩根小の3年生から6年生が社会科と総合学習の一環として見学。福島県指定重要文化財である天王壇古墳出土の埴輪資料を展示し市民一般に公開している。				
根拠法令等	本宮市立資料館条例 本宮市立資料館滋養例施行規則	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定（年度～年度）			
決算額	1 燃料費	39,680円	11 消耗品費	30,000円	15 工事請負費	0円
	7 印刷製本費	49,607円	12 役務費	68,828円	18 備品購入費	0円
	8 光熱水費	222,928円	13 委託料	413,700円	19 負担金補助及び交付金	0円
	9 修繕料	103,009円	14 使用料及び手数料	363,402円	合計	1,291,154円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象（誰を、何を）	市民一般。市内外の見学者。博物館や資料館などの各種機関。学芸員資格取得希望者。小中学生の社会・歴史・総合学習・職場体験。				
手段（事業の具体的な内容、手順等）	→	活動指標名・式（アウトプット） 活動の大きさを表す指標			
市民などから寄贈された民俗資料や発掘された考古資料などを展示。特に天王壇出土の埴輪資料は福島県指定重要文化財となっている。常設展及び企画展を開催。埋蔵文化財、古文書に関する各種問い合わせに答える。各種見学会に対応する。		指標 (1)	名称	入館者数。	
意図（対象を、どのような状態にしたいのか）	→	成果指標名・式（アウトカム） 意図の達成度を表す指標			
市民一般、市内外の研究者などに本宮市出土の考古資料・古文書・民俗資料などについての理解を深めていただく。市民の文化向上に資する。		指標 (1)	名称	埋蔵文化財や各種調査・問い合わせの数。（微細なものは除く） (開発埋蔵文化財) + (各種アンケート) =	
事務事業を実施（意図を実現）することで、施策にどのように貢献していますか					

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度(実績)	年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込み)	年度(最終目標)
指標	活動指標(1)	人			663	600	
	活動指標(2)						
	成果指標(1)	件			49	40	
	成果指標(2)						
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			1,291	
	事業費計(A)	千円			1,291		
職員数	人				1	1	
人件費平均額(年)	千円				8,373	8,373	
人件費計(B)	千円				8,373	8,373	
総事業費(A+B)	千円				9,664	8,373	

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？
平成14年頃と比較して社会情勢はあまり変化していない。合併したため問い合わせが白沢地区の歴史に関するものが増えた。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？
企画手開催の他に史跡めぐりなどの他の企画をして欲しいとの要望あり。

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
文化財の保護・継承と芸術・文化活動の推進。	市民の教育・学術および文化の向上に資するため妥当。	市民をはじめとして小中学・高校生などに教育活動を提供することは妥当。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
各種問い合わせに少ない人員で答えているが、数年前に比較し職員が激減しているため職員体制の見直しが必要。	文化財行政の推進に甚大な影響。	類似機関は無い状況。資料館には膨大な考古資料と古文書・役場文書・民俗資料が保管されているため統合は不可能。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
光熱費と警備委託料が予算の主なものので削減の余地は無い。	資料館に常駐している人員は1.3人程度でこれ以上の削減余地は無い。	社会教育における教育活動の機会を提供しており適正。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	人員が削減された中で、埋文行政・文化財行政などから資料の収集・企画展の展示、各種問い合わせに答えるには人員の再配置の検討が必要。																							
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(4) 改革改善案の概要																								
資料館とは本来、資料の収集・展示・研究・企画展の開催・各種問い合わせに答える機関です。将来的には市民ボランティアと協力して企画展などを開催したい。人員的に不足しているので何らかの対策が必要。																								
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																								
自治体として歴史的遺産をどのように保存し公開していくか、資料館の機能を果たすためには職員体制を見直す必要がある。																								

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																							
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																								
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																								